



平成 23 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 S R A ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 鹿 島 亨  
(コード：3 8 1 7、東証第一部)  
問合せ先 取締役管理本部長 金 崎 俊 明  
( TEL. 03-5979-2666 (代表) )

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 23 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 35,500	百万円 2,600	百万円 2,600	百万円 1,500	円 銭 108.38
今回修正予想 (B)	32,000	2,000	2,100	1,150	83.09
増 減 額 (B-A)	△3,500	△600	△500	△350	—
増 減 率 (%)	△9.9%	△23.1%	△19.2%	△23.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	34,053	1,997	2,059	1,238	89.48

#### 2. 修正の理由

本日、同時に公表した「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」に記載のとおり、第 3 四半期連結累計期間 (以下「第 3 四半期」という) の連結業績は、前年同期に比べ売上高は微減、利益はほぼ横ばいの結果となりましたが、計画に対しては修正が必要となる程度の不足が生じました。

さらに、第 4 四半期においても顧客企業の I T 投資に対する慎重な姿勢は継続し、案件の縮小・先送りや内製化、受注単価ダウン等の厳しい受注環境に好転の兆しは見えない状況が続いております。

このような環境の下、第 3 四半期で業績が好調だったグループ会社については、その勢いの持続が見込まれますが、中核事業会社の株式会社 S R A については、以下の理由で年度の計画達成が厳しい状況となりました。

(1) 主力の開発事業において、年度の売上高計上に直結する、第 3 四半期末の受注残が減少し、さらに足元の受注減により売上高が計画に届かない

(2) 受注単価の下落による収益性の低下で粗利益の目標値が確保できない

(3) 全社的なコスト抑制に努めるものの、粗利益の未達分をカバーしきれない

引き続き、グループを挙げて当年度の業績の向上に注力しますが、業績予想値を下回る見込となりましたので修正いたします。

なお、当期の配当につきましては、従来予想どおり 1 株につき 40 円を予定しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上